

教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京医科歯科大学拠点連携校共通						
教育プログラム・コース名	連携7校共通：難治性がん性疼痛に対する集学的アプローチ連携コース（インテンシブコース）						
対象職種・分野	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、その他の医療職（公認心理師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）						
修業年限（期間）	1年						
養成すべき人材像	<p>・がん性疼痛の種類やメカニズムを理解し、がん性疼痛を緩和するための各種アプローチに関する専門的な知識・スキルを身につけ、適切に実践できる医療従事者。</p> <p>・がん患者が抱える全人的苦痛を適切に評価でき、他の医療従事者とともに疼痛緩和のための有機的なチームアプローチを実践できる医療従事者。</p>						
修了要件・履修方法	本教育プログラム・コースで定める講義の7割以上を履修し、連携大学での実習に参加の上、試験に合格すること。						
履修科目等	<p><講義> 「がん性疼痛概論」「がんサバイバーの痛み」「神経ブロック」「緩和放射線治療」「緩和IVR治療」「骨転移治療」「精神・心理的ケア」「慢性疼痛に対する心理療法」「がん患者に対するリハビリテーション」「鍼灸治療」「多職種協働・チーム医療」等</p> <p><実習> 連携大学での実習に参加する（実習内容については選択制） （例）緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、ペインクリニック（神経ブロックや鍼灸治療を含む）、慢性疼痛に対する多職種チーム医療、骨転移キャンサーボード、がんリハビリテーション等</p>						
がんに関する専門資格との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・日本緩和医療学会認定医・専門医、ペインクリニック学会専門医 ・認定看護師（緩和ケア、がん性疼痛看護）、専門看護師（がん看護） ・緩和薬物療法認定薬剤師 等 						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>がん性疼痛は時に難治性で薬物療法だけでは緩和が困難である。本コースでは、難治性がん性疼痛やがんサバイバーの慢性痛を緩和するための、神経ブロック・放射線治療・IVR治療・骨転移治療・心理療法・運動療法・鍼灸治療等の様々なアプローチに関する専門的知識やスキルの習得が可能となっている。</p> <p>また、多施設・多職種が連携した研修内容となっている点が特徴であり、受講者は希望する施設にて、がん診療の現場を見学したり、手技を習得したりすることができる。</p>						
指導体制	緩和医療専門医、ペインクリニック専門医、緩和薬物療法認定薬剤師、専門・認定看護師、公認心理師・臨床心理士、理学療法士等が直接指導にあたる。						
修了者の進路・キャリアパス	がん拠点病院や地域の中核的病院において、医療チームの一員として、がん患者の苦痛の緩和やQOLの向上に貢献することが期待される。また、将来的には上記専門資格の取得につながることを期待される。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数 <small>※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	20	20	20	20	20	100
受入目標人数設定の考え方・根拠	7大学からそれぞれ2～4人/年の志願者が見込まれることから、受入れ目標人数を20人/年と設定した。						
履修者数 <small>※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。</small>	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0						0